Brochure

HP Integrity NonStopサーバー

再び注目される"無停止"の価値

インテル® Itanium® プロセッサー
9500 製品ファミリー搭載
HP Integrity NonStopサーバー

無停止サーバーの原点、そして最先端。進化し続ける絶対価値、HP Integrity NonStopサーバー。

クラウド、セキュリティ、モビリティ、ビッグデータ――新しいITの潮流が次々と押し寄せる中、HP Integrity NonStopサーバーが再び大きな注目を集めています。"無停止を超えた価値" が高く評価され、様々な領域に活躍の場を広げています。
1975年に登場したNonStop Systemを源流に持つHP NonStopサーバーは、最新の業界標準テクノロジーを採り入れながら着実に進化し、様々な分野で実績を積み重ねてきました。HP NonStopサーバーは今や "特別なシステム" ではありません。クラスター型システムやFTサーバーを上回る "無停止性能" を、確実にしかもリーズナブルに手に入れることができるソリューションです。

100% UPTIME

NonStop、それは "最高のサービス品質" の査証

唯一無二の無停止サーバー「HP NonStop」――その揺るぎない評価を支えるのは、銀行ATMやクレジットカードのトランザクションシステムをはじめ、社会基盤として停止の許されない（止まらないことが常識）のシステムを支えてきた圧倒的な稼働実績です。
NonStopサーバーは、IDCによる可用性の定義において最高レベル（AL4）にランクされています。*1
100%のアプリケーション可用性というユーザーにとっての "最高のサービス品質" を実現するのは、ハードウェアとOS、データベース、トランザクションモニターを無停止のために統合した独自のアーキテクチャーです。最新のHP NonStopサーバーでは、OSSをはじめとする業界標準テクノロジーを積極的に採り入れ、"無停止" にオープンかつリーズナブルという価値を付加。"最高のサービス品質" を様々な領域で提供可能にしています。

*1:Source: IDC, Sept. 2012, Doc #236946
Worldwide and U.S. High-Availability Server 2012-2016 Forecast and Analysis

Scale out

NonStop、それは "スケーラブル DB" への解答

HP NonStopサーバーが評価されるもう一つの理由は、一般的な商用リレーショナルデータベース（RDB）では事実上困難な "スケールアウト*2による無限の拡張" を可能にしていることです。HP独自の超並列・疎結合アーキテクチャーがこれを実現しています。さらに、ハードウェアとソフトウェアを統合したシステムデザイン、ソフトウェアを二重化して稼働させるテクノロジー「プロセスペア」により、たとえデータベースの不調に際してもトランザクションを停止させることはありません。
この "リニアに規模と性能を拡張可能な無停止データベース" という比類のない特長が、一般的な商用データベースシステムとの決定的な差異となり、HP NonStopサーバーへの移行を加速させています。

*2:ノード内のプロセッサー追加は同じサーバーモデルのプロセッサー増設となります。

One-stop

NonStop、それは "運用コスト低減" への最短距離

ミッションクリティカルな要求レベルが高いシステムほど、保守サービスも運用管理スタッフも手厚くせざるを得ない――その常識は、HP NonStopサーバーには当てはまりません。
HP NonStopサーバーなら、"無停止サーバー" という特性を活かして平常時の運用負荷を最小化できます。また、ハードウェア、OS、データベース、ミドルウェアまでが統合されたシステムに対しHPがミッションクリティカルサポートサービスを提供。窓口を一本化でき、問題の原因特定から解決までを最短時間で実現します。

Migration

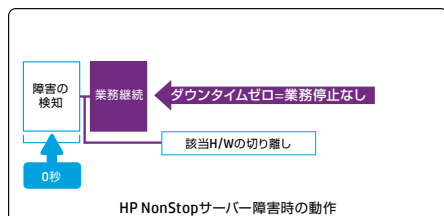
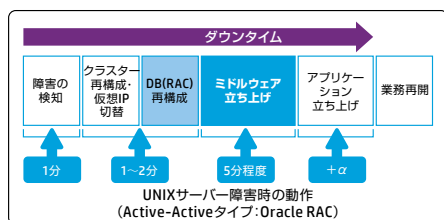
NonStop、それは "DBシステム" の確かな移行先

HP NonStopサーバーが、データベースシステムの移行先として選定されるケースが増えています。その大きな理由に、一般的な商用RDBを採用したクラスターシステムに対して、5年間のライフサイクルコストで大きな優位性を発揮することが挙げられます。
また、ハードウェアとソフトウェアが完全に統合されたHP NonStopサーバーは、高度なチューニングなしに高いパフォーマンスを発揮。パッチ適用の頻度も低いというメリットもあります。複数のクラスターシステムをHP NonStopサーバーに統合することで、TCOの大幅な削減に成功した事例も増えています。

UNIX/Linuxクラスターを圧倒する可用性、さらに投資対効果、運用性でも優位。

UNIXサーバー障害時の動作
（Active-Activeタイプ：Oracle RAC）

障害の検知
業務継続
ダウンタイムゼロ=業務停止なし
該当H/Wの切り離し
0秒

HP NonStopサーバー障害時の動作

［再構成不要でアプリケーションを継続］

《UNIX/Linuxクラスター》

データベースシステムの可用性と処理性能を高める方法のひとつに、複数のUNIX/Linuxサーバーを冗長化してActive-Activeで運用する方法があります。しかし、運用の現場では様々な問題が明らかになっています。

- ▲複数のサーバーが連携して処理を行うため管理負荷が高い
- ▲パッチ適用はすべてのノードに個別に行う必要がある
- ▲ノード拡張には高度なスキルが要求される再設計が必須
- ▲バージョンアップにはシステム全体の整合性検証が必須
- ▲ノード障害時は他ノードとのデータ整合性確認のためDB全体が一時停止する

《HP NonStopサーバー》

単体システムの信頼性を高めるために冗長化を施すシステムに対し、"無停止" を実現するためにシステムがデザインされたHP NonStopサーバーでは無停止性能が大きく異なります。5年間の投資対効果でも最大で2.5倍有利*3になります。

- ●単一システムによる無停止性能を活かしたシンプルで容易な管理
- ●将来にわたり同じアプリケーションバイナリを利用可能
- ●単一システムなのでノード追加のリソースがリニアに拡張される
- ●プロセッサー障害が発生してもそのプロセッサー以外に影響はなく処理が継続

*3: HP試算

メインフレームを超えるビジネス価値、無停止と最新テクノロジーの融合。

処理A
OS
H/W
処理A障害

メインフレームでは可用性を高めるためのクラスター環境が必要
（切替時間が発生）

HP NonStopサーバーは同一ノード内で処理を継続
（切替時間なし）

［1ノードで無停止システムを実現］

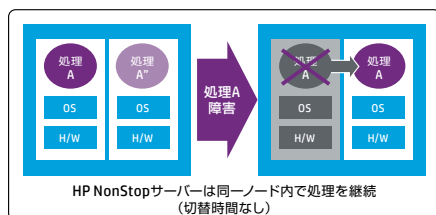
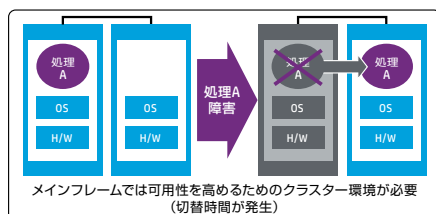
《メインフレーム》

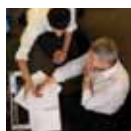
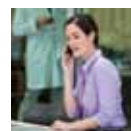
「最も高い可用性を備えたシステムはメインフレーム」と思っている方は少なくありません。しかし、実際にメインフレームがHP NonStopサーバーに匹敵する可用性を実現するには、メインフレーム自身を二重化するクラスター構成が必須となります。

- ▲高い可用性を実現するために複雑なクラスター構成が必要
- ▲導入・構築・運用・保守・更新のすべてにおいて高コスト
- ▲プロセッサーをはじめ主要コンポーネントが独自設計
- ▲ベンダー独自のWebアプリケーション
- ▲データベースのスケールアウトによる性能向上は困難

《HP NonStopサーバー》

HP NonStopサーバーは、シンプルな単一システムで最高レベルの可用性を提供し、ミッションクリティカルアプリケーションの稼働を守ります。日本の大手製造業では、HP NonStopサーバーへの移行によりTCOを1/3にまで削減しました。

- ●単一システムで最高レベルの可用性を実現
- ●アプリケーションプロセスを二重化するHP特許取得のプロセスペア技術
- ●業界標準コンポーネントを積極的に採用し低コストを実現
- ●JBossベースのWebアプリケーションを利用可能
- ●スケールアウトによりデータベースのリニアな性能向上を実現

年間300兆円を超えるデビット／クレジット決済を処理。急増する携帯通信機器、約4億台のユーザー情報を管理。

HP NonStopサーバーは、社会基盤を支えるミッションクリティカルな領域で圧倒的な実績を積み重ねてきました。最新世代のHP NonStopサーバーでは、"無停止" という価値をより手軽に活用可能に。その適用範囲を大きく拡大させています。

金融サービス
- ●決済システム／ペイメントシステム
- ●クレジットカード／デビットカード与信システム
- ●証券取引所／為替取引所

通信／メディア
- ●携帯電話サービスにおけるユーザー情報管理データベース
- ●世界最大規模のメッセージングシステム
- ●インテリジェントネットワーク

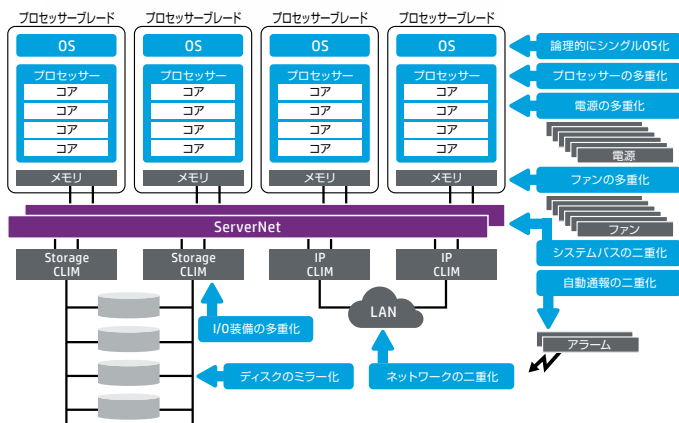
流通／製造／サービス
- ●プロセスコントロールシステム
- ●受発注管理／チケット予約システム
- ●データ集配信／EDIサービス

ヘルスケア／政府・公共機関
- ●警察／消防緊急指令システム
- ●電子カルテシステム
- ●国家安全保障関連システム

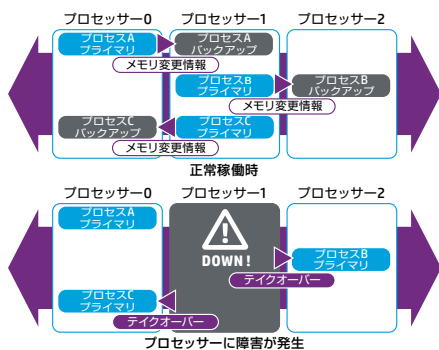
ハードウェアとソフトウェアを最適化したデザイン。“無停止”のために生まれた垂直統合型システム。

HP NonStopサーバー最大の特長は、冗長化されたハードウェア上で実行するプロセスをも冗長化すること。この「プロセスペア技術」によって、障害時にシステムを再起動することなく実行中のプロセスを“継続”できます。
完全に冗長化されたハードウェアプラットフォーム、無停止型超並列アーキテクチャーのためのオペレーティング環境「HP NonStop OS」、スケールアウト可能な超並列リレーショナルデータベース「HP NonStop SQL」、トランザクション管理ソフトウェアまで——HPは“無停止”という使命を達成するために、ハードウェアとソフトウェアを垂直型に統合しています。

無停止のための垂直統合型システム「HP NonStopサーバー」

Middleware	**HP NonStop Java：**	無停止サーバー上でJava EEアプリケーションサーバーの構築を実現
	HP NonStop SQL：	HP NonStop OSと統合されたスケールアウト可能な無停止データベース
	HP NonStop TS/MP：	リソース単位でアプリケーションの最適処理を管理するトランザクションモニター
	HP ServerNet Cluster：	ServerNetスイッチを光ファイバーによりメッシュ状に接続しクラスターを構成
Operating System	**HP NonStop OS：**	疎結合マルチプロセッサー構成の無停止型超並列アーキテクチャーをサポートする専用OS
Hardware	**HP ServerNet 3：**	リアルタイム超並列処理をASICにより実現するシステムエリアネットワーク
	インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリー：	エラー検知と再実行が可能なインストラクションリプレイ機能を実装し、さらなる高信頼性を実現

［HP NonStopサーバーのシステムデザイン］

HP NonStopサーバー独自のシステムデザイン

HP NonStopサーバーのシステムデザインにご注目ください。すべてのハードウェアコンポーネントを冗長化して単一障害点を完全に解消。独立したメモリを持つ複数のプロセッサーブレード上でOSを稼働させ、システムエリアネットワークである「ServerNet」により高速接続することで論理的な“シングルシステム”を実現します。疎結合（シェアードナッシング）によるリニアなスケールアウトと無停止運用を両立させていることが、HP NonStopサーバーの特長であり最大の魅力です。

HP NonStopサーバーの"無停止"を支える「プロセスペア技術」

サーバーの真の"無停止"を実現する核心的技術、それが「プロセスペア」です。HP NonStopサーバーでは、異なるプロセッサー上でプライマリとバックアップの2つのプロセスを実行。プライマリプロセスに障害が発生した場合、瞬時にバックアッププロセスが処理を引き継ぎます。クラスターシステムにおけるフェイルオーバー(スタンバイ機でのアプリケーション再起動)とは異なり、HP NonStopサーバーでは無停止でのテイクオーバー(処理の継続)*4が可能です。

*4: ノンストップコーディングを実施することで、アプリケーション自体をプロセスペア構成にすることが可能。

[再起動なしにプロセスを継続]

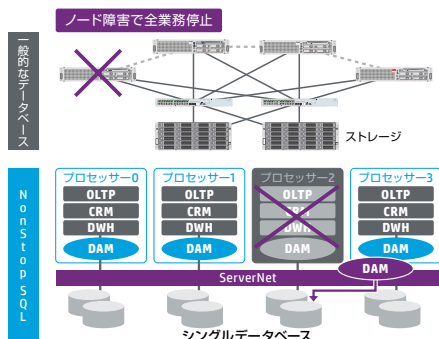
アプリケーション実行の最適化制御を担う「HP NonStop TS/MP」

HP NonStop TS/MPは、HP NonStopサーバーに最適化されたTPモニターとして、OLTPアプリケーションの実行管理と制御を担います。HP NonStopサーバーは、超並列アーキテクチャー(スケールアウト)によって拡張されたシステムリソースを"シングルシステム"として利用可能。HP NonStop TS/MPは、ロードバランシング、並列処理スケジューリングによりリソース内で複数のアプリケーション実行の最適化を図り、アプリケーションレベルの無停止運用を実現します。

[プロセッサー障害時にアプリケーションの実行プロセッサーを移動]

無停止型超並列アーキテクチャーのための基盤ソフトウェア「HP NonStop OS」

HP NonStop OSは"無停止+超並列アーキテクチャー"をサポートするHP NonStopサーバー専用OSです。HP NonStopサーバーは、独立したメモリを持つ複数のプロセッサーブレードを、システムエリアネットワークである「ServerNet」によって接続する独自のシステムデザインを採用。システム全体を統合された"シングルシステム"として動作させるために、HP NonStop OSのもと複数のプロセッサーブレードが協調して複数のワークロードを並列処理します。

[統合されたシングルシステムとして動作]

無限のスケールアウトを実現するリレーショナルデータベース「HP NonStop SQL」

HP NonStop SQLは、ミッションクリティカルなOLTPアプリケーションを無停止で運用するための"超並列リレーショナルデータベース管理システム"です。疎結合型(シェアードナッシング)の特長を活かし、ハードウェアの追加によりリニアに規模と性能を拡張可能。一般的な商用リレーショナルデータベースでは困難な"スケールアウトによる無限の拡張"を実現します。また、一般的な商用RDBではノード障害時にクラスター再構成とデータベースの復旧により数分間の全業務停止が発生しますが、HP NonStop SQLではノード障害時でも"無停止での処理継続"を実現します。

[DAM(Data Access Manager)が無停止で処理を引き継ぎ]

Javaアプリケーションサーバー『NonStop Application Server for Java』

HPは、オープンソースソフトウェアJBoss Application Server version 7.1.2をベースにしたHP NonStopサーバー用のアプリケーションサーバー「NonStop Application Server for Java(NSASJ)」を提供しています。NonStopサーバー上にNSASJを実装することにより、高可用かつスケーラブルなアプリケーション環境をシングルシステムイメージで容易に構築・管理することが可能です。

[シングルシステムで堅牢なアプリケーション環境と容易な管理を実現]

一般的なスケールアウト
サーバー　サーバー　サーバー　Add-on サーバー
クラスター
DB DB DB
性能　スケールしない　H/W追加
・クラスターウェアや共有ディスクなどがボトルネック
・リソースを追加しても性能は頭打ち

NonStopサーバー
サーバー　サーバー　サーバー　Add-on サーバー
OS DB
ServerNet
性能　スケール アウト　H/W追加
・シェアードナッシングなので、リニアな性能向上
・スモールスタートで柔軟かつオンラインで増設可能

無限のスケーラビリティを支える超高速インターコネクト技術「ServerNet」

HP NonStopサーバーは、独立したメモリを持つ複数のプロセッサーブレードをシステムエリアネットワークである「ServerNet」により接続。これにより、疎結合による超並列化と無停止運用を実現しています。また、最大16プロセッサーを搭載するプロセッサーブレードを最大255ノード(4,080プロセッサー)まで接続し、性能上のボトルネックの発生しないリニアなスケールアウトが可能です。プロセッサー間やI/Oとの通信には、ASIC ServerNetルーターチップによるハードウェアデータの分解・組み立て、伝送を実施することによりメインのプロセッサーの負荷を抑え、リニアな性能向上を実現します。

[ServerNetが疎結合による超並列化を実現]

HPのミッションクリティカル コンバージドインフラストラクチャー戦略の中核を担う ハイエンド無停止プラットフォーム

インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリーを搭載。HP Integrity NonStop BladeSystem NB56000cは、最先端のブレードアーキテクチャーを採用したハイエンド無停止サーバーです。世界最高水準の無停止性能とハイパフォーマンスを提供。アプリケーションのゼロダウンタイム、高度なスケーラビリティの求められるミッションクリティカルなオンライントランザクションを統合的かつ無停止で実行します。NEBS Level 3に準拠した耐震ラックを標準で装備し、通信事業者様向けに最適化したHP Integrity NonStop BladeSystem NB56000c-cgもラインアップしています。

技術仕様

	HP Integrity NonStop BladeSystem NB56000cサーバー	HP Integrity NonStop BladeSystem NB56000c-cgサーバー
プロセッサー	(1 ノード) 2-16 プロセッサー インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリー (2.4GHz、32MB L3キャッシュ)	(1 ノード) 2-16 プロセッサー インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリー (2.4GHz、32MB L3キャッシュ)
コアライセンス	2 コア、4 コア	2 コア、4 コア
メモリ	論理プロセッサーあたり 最小 : 16GB 最大 : 96GB	論理プロセッサーあたり 最小 : 16GB 最大 : 96GB
NonStop OS	J06.16 以降	J06.16 以降
CLIM	c7000 エンクロージャー x2 構成の場合 最大:48(Storage、IP、Telco CLIMの合計)	c7000 エンクロージャー x2 構成の場合 最大:48(Storage、IP、Telco CLIMの合計)
通信I/Oアダプター	イーサーネット 最大: 1GbE銅線ポート x 5、または銅線ポート x 3 と ファイバーポート x 2	イーサーネット 最大: 1GbE銅線ポート x 5、または銅線ポート x 3 と ファイバーポート x 2
ストレージI/Oアダプター	6G SAS 8G ファイバーチャネル	6G SAS 8G ファイバーチャネル
SAS ストレージエンクロージャー	SAS SFF ドライバー x 25/エンクロージャー	SAS SFF ドライバー x 24/エンクロージャー
ディスクドライブ	6G SAS SFF (2.5") HDD、6G SAS SFF (2.5") SSD	6G SAS SFF (2.5") HDD、6G SAS SFF (2.5") SSD
エンターディスクストレージ	HP P9500ディスクアレイ	HP P9500ディスクアレイ
16 ポートギガビット・ イーサネット ServerNet エンクロージャー(G16SE)	イーサネットポート x 16 (すべて銅線ポート、 または最大8 つのファイバーポートで構成可) 1GbE イーサネットポート x 8、10/100 イーサネットポート x 8※1	イーサネットポート x 16 (すべて銅線ポート、 または最大8 つのファイバーポートで構成可) 1GbE イーサネットポート x 8、10/100 イーサネットポート x 8※1
標準的な機能	冗長電源、冗長ファン	冗長電源、冗長ファン

環境仕様

高度	動作高度: 海抜3,000 m (10,000フィート)以下 保管高度: 海抜9,144 m (30,000フィート)以下	動作高度: 海抜0〜4,000 m (0〜13,123フィート)以下 保管高度: 1,800 m以上 305 m毎に+1℃ (5,900フィート以上 1,000フィート毎に+1.8°F) 以下
温度	動作温度: +10℃ 〜 +35℃ (+50°F 〜 +95°F) 最大温度変化: 10℃/時(18°F/時) 保管温度: -40℃ 〜 +66℃ (-40°F 〜 +150°F)	動作温度: +5℃ 〜 +40℃ (+41°F 〜 +104°F) 動作温度(短期間): -5℃ 〜 +50℃ (+23°F 〜 +122°F) 保管温度(6カ月): -40℃ 〜 +70℃ (-40°F 〜 +158°F)
湿度	動作湿度: 20% 〜 80% (結露しないこと) 保管湿度: 〜95% (温度66℃ (+150°F)の環境で)	動作湿度: 5% 〜 85% (結露しないこと) 保管湿度: 〜 93%(温度70℃ (+158°F)の環境で)
寸法 (W×D×H)	59.78 x 130.02 x 200.66 cm (23.54 x 51.19 x79.00 インチ) (42U)	67.8 x 100 x 181.4 cm (26.7 x 39.4 x 71.4 インチ)
重量	629kg (1,387 ポンド)※2	907.2kg (2,000 ポンド)※3
電源装置	入力電流: 28A 208VAC AC入力電源: 200 〜 240V、50 〜60Hz	ブレーカーパネル最大: 300A ヒューズパネル最大: 100A c7000 エンクロージャーパネル最大: 80A 入力電圧範囲 公称値: -48/-60VDC 動作時: -40/-72VDC
対応規格	—	NEBS Level 3 準拠

システム構成

最小構成 (1 システム/1 ノード)	2 プロセッサー	32GB メモリ	2 プロセッサー	32GB メモリ
最大構成 (1 システム/1 ノード)	16 プロセッサー	1,536GB メモリ	16 プロセッサー	1,536GB メモリ
最大構成 (Expand接続)	255 ノード	384TB メモリ	255 ノード	384TB メモリ

あのHP NonStopが1,110万円(税別)から。優れたプライスパフォーマンスを実現した無停止サーバーのエントリーモデル

インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリーを搭載。HP Integrity NonStop NS2300およびNS2400は、無停止サーバーの価値をそのままに大幅な低価格化を実現したエントリーモデルです。“止まらない” という最高のサービス品質を追求するあらゆるビジネスへ、HP NonStopサーバーの提供領域をさらに拡大します。

技術仕様	HP Integrity NonStop NS2300サーバー	HP Integrity NonStop NS2400サーバー
プロセッサー (コア数)	(1 ノード) 2-4 プロセッサー(2~4 コア) インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリー (1.73GHz)	(1 ノード) 2-4 プロセッサー(4~8 コア) インテル® Itanium® プロセッサー 9500 製品ファミリー (1.73GHz)
キャッシュ	20MB L3キャッシュ	20MB L3キャッシュ
メモリ	最小 : 16 GB 最大 : 48GB	最小 : 16GB 最大 : 48GB
VIO G4SA	最小: 2 (ファブリックあたり1つ、4つのイーサーネットポートを提供) 最大: 4 (ファブリックあたり2つ)	最小: 2 (ファブリックあたり1つ、4つのイーサーネットポートを提供) 最大: 4 (ファブリックあたり2つ)
IP CLIM	最小: 0 最大: 2 (1 IP CLIMあたり5つのGigabitイーサーネットポートを提供)	最小: 0 最大: 2 (1 IP CLIMあたり5つのGigabitイーサーネットポートを提供)
ストレージCLIM	最小: 2 最大: 4	最小: 2 最大: 4
I/Oアダプター種別	Serial Attached SCSI (SAS)、ファイバーチャネル、 Gigabitイーサーネット	Serial Attached SCSI (SAS)、ファイバーチャネル、 Gigabitイーサーネット
SASディスクモジュール	モジュールあたり25	モジュールあたり25
ディスクドライブ	6G SAS SFF (2.5") HDD、6G SAS SFF (2.5") SSD HP Storageディスクアレイファミリー(例: P9500)	6G SAS SFF (2.5") HDD、6G SAS SFF (2.5") SSD HP Storageディスクアレイファミリー(例: P9500)
標準的な機能	冗長電源、冗長ファン、 デュアル配電装置、デュアル電源コード	冗長電源、冗長ファン、 デュアル配電装置、デュアル電源コード
環境仕様		
高度	動作高度: 海抜3,000 m (10,000フィート)以下 保管高度: 海抜12,000 m (40,000フィート)以下	動作高度: 海抜3,000 m (10,000フィート)以下 保管高度: 海抜12,000 m (40,000フィート)以下
温度	動作温度: +10℃ ~ +35℃ (+50°F ~ +95°F) 最大温度変化: 10℃/時(18°F/時) 保管温度: -30℃ ~ +60℃ (-22°F ~ +140°F) 最大温度変化: 20℃/時(36°F/時)	動作温度: +10℃ ~ +35℃ (+50°F ~ +95°F) 最大温度変化: 10℃/時(18°F/時) 保管温度: -30℃ ~ +60℃ (-22°F ~ +140°F) 最大温度変化: 20℃/時(36°F/時)
湿度	動作湿度: 20% ~ 80% (結露しないこと) 保管湿度: 10% ~ 85%	動作湿度: 20% ~ 80% (結露しないこと) 保管湿度: 10% ~ 85%
寸法 (W×D×H)	59.78 x 130.02 x 200.66 cm (23.54 x 51.19 x 79.00 インチ) (42U) 59.78 x 130.02 x174.71 cm (23.54x 51.19 x 68.80 インチ) (36U)	59.78 x 130.02 x 200.66 cm (23.54 x 51.19 x 79.00 インチ) (42U) 59.78 x 130.02 x174.71 cm (23.54x 51.19 x 68.80 インチ) (36U)※4
重量	539kg (1,188ポンド)※5	539kg (1,188ポンド)※5
電源装置	通常の消費電力: 2,602VA※5 入力電流: 13A 200VAC AC入力電源: 200 ~ 240V、50 ~60Hz	(NS2400) 通常の消費電力: 2,602VA※5 入力電流: 13A 200VAC AC入力電源: 200 ~ 240V、50 ~60Hz (NS2400T, NS2400ST) 入力電圧範囲 公称値: -48/-60VDC 動作時: -40/-72VDC
システム構成		
最小構成	2 プロセッサー/システム。ServerNetテクノロジーを使用。 16GBメインメモリ/プロセッサー	2 プロセッサー/システム。ServerNetテクノロジーを使用。 16GBメインメモリ/プロセッサー
最大構成	4 プロセッサー/システム。ServerNetテクノロジーを使用。 192GB メインメモリ/システム	4 プロセッサー/システム。ServerNetテクノロジーを使用。 192GB メインメモリ/システム

※1 : 標準的な構成では、1つめのG16SEの2つのイーサネットポートはシステム保守用に構成されユーザーからは使用できません。※2 : 42Uラックに、c7000エンクロージャー1台、HP Integrity NonStopサーバーブレード8台、D2700ディスクエンクロージャー (300GB HDD×25本) 2台、DL380p Gen8 IP CLIM2台他を構成した時のものです。※3 : NB56000c-cg 1ラックあたりの最大積載量は907.2kg。※4 : 標準ラックタイプ。NS2400STは耐震ラック(36U) となります。※5 : シングルラック、4プロセッサー構成 (ハードウェアベースバンドル) 、UPS未搭載、42Uキャビネット1台の場合

あなたのシステムのHP NonStopサーバーとの《適合性》をチェック

「HP NonStopサーバーは良いらしいが、投資対効果が見合うだろうか」「HP NonStopサーバーのメリットはわかるが、自社の要求にどこまで応えてくれるだろうか」——もしそのような疑問がおありなら、ぜひ下記の項目をご確認ください。

- ☐ システムの不調や停止がビジネス（信用や機会など）に多大な影響を与える
- ☐ OSやデータベース、ミドルウェアの不調により二重化システムがダウンしたことがある
- ☐ スケーラブルかつ運用の容易なオープンなアプリケーション環境が必要になっている
- ☐ 将来の計画として、利用しているデータベースの容量を2倍以上に拡張したい
- ☐ 複数のミッションクリティカルなシステムを統合したいと考えている
- ☐ リレーショナルデータベースのライセンス費／保守運用費が高いと感じている
- ☐ メインフレームを継続的に使うにはコストに不満がある
- ☐ メインフレームで稼働させているシステムのダウンサイジングを検討している
- ☐ ビジネスを支えるシステムの重要度が以前よりも高まっている
- ☐ システム基盤により強固なセキュリティ環境が求められている

上記に3つ以上該当する方は、今すぐ弊社担当営業までご連絡ください。

HP NonStopサーバーは、一般的な商用リレーショナルデータベースでは事実上困難なスケールアウト、UNIX/Linuxクラスターを大幅に超える可用性と運用の容易さ、単一システムでメインフレームを上回るアプリケーション可用性を実現します。エントリーモデルの登場により、従来よりも手軽に導入可能になったHP NonStopサーバーをぜひご検討ください。

⚠ 安全に関するご注意　ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ
03-5749-8328　月〜金 9:00〜19:00　土 10:00〜17:00（日、祝祭日、年末年始および5/1を除く）
HP Integrity NonStopサーバーに関する情報は　**http://www.hp.com/jp/nonstop**

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

JTN13307-01